



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-56

(2022. 7. 13)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の医療・福祉向け貸出の動向（2021年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

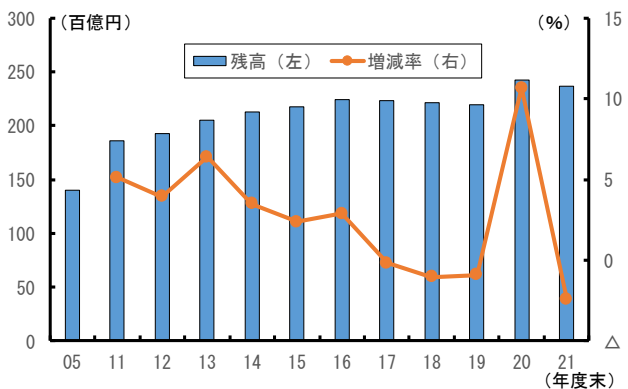
- 2021年度末の信用金庫の医療・福祉向け貸出金残高は、前期比2.4%、590億円減少の2兆3,686億円となり、前期（10.6%増）より減少に転じた。
- 地区別の医療・福祉向け貸出金残高は、2011年度末から9地区で増加し、2地区で減少している。増加した地区では、東京が2011年度末比69.4%増に達した。
- 2021年度末の1先あたり医療・福祉向け貸出金残高は4,910万円となった。2011年度末と2021年度末の1先残高を比較すると、増加が90金庫、減少は164金庫となる。
- 2021年度末の信用金庫別の医療・福祉向け貸出比率（貸出金に占める割合）は、①2%未満が66金庫、②2～3%未満が67金庫、③3～4%未満が59金庫、④4%以上は62金庫となる。

1. 全国状況

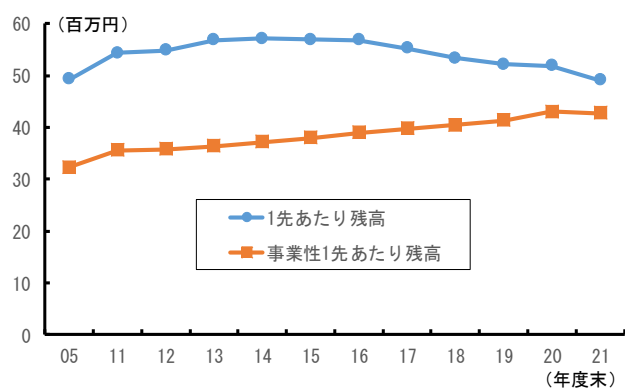
2021年度末の信用金庫の医療・福祉向け貸出金残高は、前期比2.4%、593億円減少の2兆3,686億円となった（図表1）。新型コロナウイルス感染症対策で貸出が大きく伸びた前期（10.6%増）の反動もあって減少に転じた。高齢化社会の到来などを背景に医療・福祉向け貸出の増加が期待される一方で、近年は競争激化もあり残高は伸び悩んでいる。

次に2021年度末の医療・福祉向け貸出先数は、4万8,191先となり、2011年度末の3万4,205先から40.8%、1万3,986先増加した。残高の伸びを上回る先数の増加がみられたため、2021年度末の1先あたり医療・福祉向け貸出金残高は4,910万円となり、2011年度末（5,436万円）より約500万円減少した（図表2）。

（図表1）医療・福祉向け貸出金残高の推移



（図表2）1先あたり残高の推移



- （備考）
1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
 2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 3. 図表1から5まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

2021年度末の地区別の医療・福祉向け貸出金残高は、東北と北陸の2地区で2011年末から減少した(図表3)。残高の増加した地区をみると、東京が69.4%増に達し、近畿の37.9%増、東海の31.6%増などが続く。

(図表3) 地区別の医療・福祉向け貸出

(単位：億円、%、百万円)

地区	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		比率	1金庫あたり 残高	1先あたり 残高
					増減額	増減率			
					北海道	1,166			
東北	642	879	841	764	△114	△13.0	2.8	28.3	49.4
東京	1,318	1,784	2,999	3,025	1,240	69.4	1.9	131.5	35.5
関東	2,509	3,623	4,319	4,133	510	14.0	2.8	84.3	46.7
北陸	483	556	568	517	△39	△7.1	2.9	34.4	60.6
東海	3,583	4,372	5,835	5,754	1,382	31.6	3.5	169.2	60.2
近畿	2,772	3,960	5,485	5,462	1,502	37.9	3.1	188.3	53.1
中国	573	944	1,115	1,074	129	13.7	3.0	53.7	43.7
四国	228	346	483	413	67	19.3	3.4	41.3	54.3
九州北部	218	398	474	468	70	17.5	3.2	36.0	34.4
南九州	542	490	606	584	94	19.2	3.4	44.9	46.4
全国	14,053	18,594	24,279	23,686	5,091	27.3	3.0	93.2	49.1

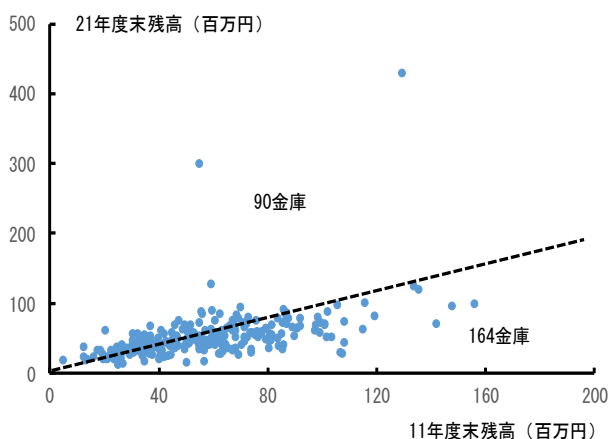
(備考) 沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

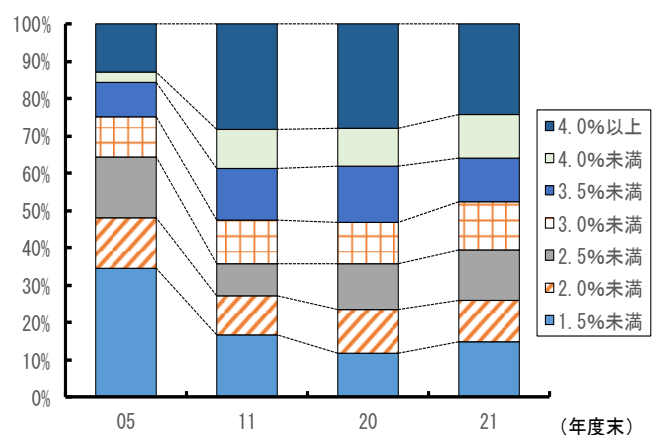
信用金庫別の1先あたり医療・福祉向け貸出金残高を2011年度末と2021年度末で比較すると、90金庫で1先あたり残高が増加し、164金庫で1先あたり残高が減少した(図表4)。なお、この間に残高が増加した信用金庫が171金庫、先数が増加した信用金庫は211金庫あった。

2021年度末の医療・福祉向け貸出比率は3.0%であった。信用金庫別の医療・福祉向け貸出比率は、①2%未満が66金庫(構成比25.9%)、②2~3%未満が67金庫(同26.3%)、③3~4%未満が59金庫(同23.2%)、④4%以上は62金庫(同24.4%)となる(図表5)。

(図表4) 1先あたり残高の変化
(11・21年度末)



(図表5) 信用金庫別の医療・福祉向け貸出比率



以上

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。